

福井 敦賀

松尾芭蕉「奥の細道」の旅

【松尾芭蕉、敦賀へ】

俳人松尾芭蕉「おくのほそ道」の旅。その日数は、江戸出発の元禄二年（一六八九）旧暦三月二十七日（陽暦五月十六日）から大垣を去る九月六日まで約百六十日間。旅先は現在の関東、東北、北陸、東海の一都十二県にわたります。

この旅で芭蕉が敦賀に足跡を残したのは旧暦八月。「名月はつるがのみなどに」と福井を立ちました。芭蕉にとつて月を観ることは旅の一つの目的でしたが、とりわけ敦賀での中秋の名月を楽しみました。

旧暦八月十四日夕刻から十五日、十六日と三日間の敦賀滞在は明らかですが、敦賀を去ったのはいつであるか定かではありません。少なくとも八月十四日、夜は氣比神宮の参拝と宵待月の観月。雨の十五日は天屋玄流等と金ヶ崎・金前寺に遊ぶ。十六日は色ヶ浜泊、翌十七日に色ヶ浜を出立、と伝えられています。

【敦賀での芭蕉の行動】

八月十四日

敦賀出雲屋着

氣比神宮参拝

八月十五日

天屋玄流宅

金前寺に遊ぶ

八月十六日

敦賀湾

色ヶ浜

本隆寺



【氣比神宮】

市民に「けいさん」の愛称で親しまれる7柱のご祭神をまつる北陸道の総鎮守高さ約11mの大鳥居は「春日大社」「厳島神社」に並ぶ日本三大木造大鳥居となっています。

★平成28年、氣比神宮境内地のほぼ全域が名勝「おくのほそ道の風景地」に指定されました。

★令和2年、「氣比神宮にのぼる月」が日本百名月に認定されました。

日本百名月とは…

日本各地に存在する美しい名月の魅力をアピールし、日本の名月の観光資源化を目指しているもの

松尾芭蕉 色ヶ浜遊記

「奥の細道」の旅

元禄二年八月十四日 氣比神宮

：十四日の夕ぐれつるがの津に宿をもとむ。

その夜、月殊晴れたり。あすの夜もかくあるべきにやといへば、越路の習ひ、猶明夜の陰晴はかりがたしと、あるじに酒す、められて、けいの明神（氣比神宮）に夜参す。仲哀天皇の御廟也。社頭神さびて、松の木の間にも月のもり入たる、おまへの白砂、霜を敷るがごとし。往昔、遊行二世上人、大願発起の事ありて、みづから草を刈、土石を荷ひ、泥滓をかきかして、参詣往来の煩なし。古例今にたえず、神前に真砂を荷ひ給ふ。これを遊行の砂持と申侍ると、亭主のかたりける。

月清し遊行のもてる砂の上

十五日、亭主の詞にたがはず、雨降。

名月や北國日和定なき

元禄二年八月十六日 色ヶ浜

十六日、空霽たれば、ますほの小貝ひろはんと、種のは浜（色ヶ浜）に舟を走す。海上七里あり。天屋何某と云もの、破籠小竹筒などこまやかにしためさせ、僕あまた舟にとりおせて、追風時のまに吹着ぬ。浜はわづかなる海士の小家に、侘しき法花寺（本隆寺）あり。爰に茶を飲、酒をあためて、夕ぐれのさびしさ感に堪たり。

寂しきや須磨に

からたる濱の秋

浪の間や小貝に

まじる菽の塵

其目のあらまし、等裁に筆をとらせて寺に残す。

露通も此みなどまで出むかひて、みの、國へと伴ふ…

『おくのほそ道』より



小萩ちれ ますほの小貝小盃 桃青

『色ヶ浜遊記』より

衣着て小貝拾わん いろの月

『荊口句帖』より

翁の宿 【芭蕉逗留の宿「出雲屋」】

芭蕉の泊まった宿は、唐仁橋町（現・相生町）の出雲屋。出雲屋跡は、相生町の歩道上に石柱が立っています。芭蕉は敦賀を去るにあたって、出雲屋の主人の厚意に報いるため、竹の杖と笠を残しました。

素龍清書本 【西村家に残る重要文化財】

表紙に貼った題簽（書名を記して表紙に貼付した細長い紙片）だけは、芭蕉が『おくのほそ道』と自筆しました。芭蕉没後は、遺言によって弟子の向井去来に渡り、その後幾人かのもとを経て、敦賀の俳人・白崎琴路に移り、現在は琴路の親戚、西村家（新道野）に移り保管されています。

お砂持ち 【氣比神宮】

芭蕉の句にもでてくるお砂持ち神事。二世遊行上人の故事に由来し、遊行上人の代替りごとに砂を入れたもっこを担ぎ氣比神宮に運ぶならわしになっています。

沈鐘伝説 【金ヶ崎】

『奥の細道』には載っていませんが、金ヶ崎を詠んだ句があります。「南北朝時代、戦いに敗れた南朝軍の陣鐘が海に沈み、のちに国守が海士に探らせたが、竜頭が海底の泥に埋まって引き上げることが出来なかった」芭蕉は、宿の主人からこの話を聞き、月いつこ 鐘は 沈るうみのそこ と詠みました。



芭蕉の足跡



氣比宮秋月



金前寺暁鐘



句碑等の所在地

- 1 杉津句碑 (北陸自動車道上り)
- 2 名月や北國日和定なき
- 3 杉津句碑 (北陸自動車道下り)
- 4 ふるき名の角鹿や恋し秋の月
- 5 色ヶ浜・本隆寺句碑
- 6 小菖ちれますすほの小貝小盃
- 7 色ヶ浜・本隆寺句碑
- 8 衣着て小貝拾わんいろの月
- 9 開山堂句碑 (色ヶ浜)
- 10 寂しや須磨にからたる濱の秋
- 11 常宮神社句碑
- 12 月清し遊行のもてる砂の上
- 13 新道野・西村家句碑
- 14 松風の落葉か水の音すし

- 8 氣比神社 芭蕉像・句碑
- 9 氣比神社 露塚・句碑
- 10 氣比神社 芭蕉翁月五句
- 11 國々の八景更に氣比の月
- 12 月清し遊行のもてる砂の上
- 13 ふるき名の角鹿や恋し秋の月
- 14 月いつく鐘は沈る海の底
- 15 名月や北國日和定なき
- 16 市民文化センター句碑
- 17 國々の八景更に氣比の月
- 18 月清し遊行のもてる砂の上
- 19 相生町 芭蕉翁逗留出雲屋跡 (稲桂)
- 20 天屋五郎 右衛門旧宅跡 (稲桂)
- 21 松原公園
- 22 出雲屋跡
- 23 西村家
- 24 氣比神社 芭蕉翁月五句
- 25 國々の八景更に氣比の月
- 26 月清し遊行のもてる砂の上
- 27 ふるき名の角鹿や恋し秋の月
- 28 月いつく鐘は沈る海の底
- 29 名月や北國日和定なき

月の句

前口句帖「芭蕉翁月一夜十五句」を題して、福井から敦賀までに詠んだ月の十五句のうち、敦賀での句は、次の七句です。

國々の八景更に氣比の月
月清し遊行のもてる砂の上
衣着て小貝拾わんいろの月
月いつく鐘は沈る海の底
月のみか雨に相撲もなかりけり
ふるき名の角鹿や恋し秋の月
名月や北國日和定なき

「敦賀風景ハツ乃詠」提供 / 敦賀市立博物館

【見どころへのアクセス】



- 氣比神社**
 - JR敦賀駅よりコミュニティバス(常宮線、金山線、松原線、他)利用約4分「氣比神社前」下車。
 - 敦賀I.C.より車で約10分。
 - JR敦賀駅より徒歩約15分。
 - JR敦賀駅よりぐるっと敦賀周遊バス利用約3分「氣比神社前」下車。
- 色ヶ浜**
 - JR敦賀駅よりコミュニティバス(常宮線)利用約30分「色ヶ浜」下車。
 - 敦賀I.C.より車で約30分。
- 金崎宮**
 - JR敦賀駅から徒歩約30分。
 - 敦賀I.C.より車で約10分。
 - JR敦賀駅よりぐるっと敦賀周遊バス利用約8分「金崎宮」下車。
- 出雲屋跡**
 - JR敦賀駅から徒歩約20分。
 - 敦賀I.C.から車で約10分。
 - JR敦賀駅よりぐるっと敦賀周遊バス利用約5分「博物館通り」下車。徒歩約3分。
- 西村家**
 - 敦賀I.C.から車で約15分。

【お問い合わせ】 (一社) 敦賀観光協会 TEL. (0770) 22-8167
 敦賀観光案内所 TEL. (0770) 21-8686 <https://www.turuga.org/>